

農の担い手のさらなる育成を！農業推進担当職員とともに取組を加速

- 生駒市は、大阪府と京都府に隣接し、市全体が都市計画区域である。
- 生活様式が変化する中で「農のあるライフスタイル」への関心が高まっていることから、マルチワーク等で農業に取り組む方の農業への参画を促進することを目的として、令和4年8月より幅広く野菜づくり（きゅうり、白菜、白ネギなど）を学べる社会人向けの農業研修を開始した。
- R7年度に本事業を活用し、短期農業研修を充実させ新規就農者の誘致体制の整備を図った。

【位置図】



奈良県生駒市

取組前

- 小さくて不整形な田・畑が多い地域
- 農業者の高齢化や担い手不足が課題であり、新たな担い手の確保及び農地の有効活用が必要



取組内容

- 「いこまファーマーズスクール」を開催。共同体験農園における毎週末の実習を中心に、1期6か月間の研修を通年で実施（1期あたり15組(30名)を募集）。
- 同スクール修了後、希望者は市内の認定農業者の元で研修を継続し、本格的に農業を学ぶことも可能。



取組後(成果)

- 令和7年度に延べ30組44名が参加（申込は102組）。落選者へのフォローアップとして、農業に関する情報を配信できるメーリングリストを作成。
- 卒業生は、3組4名が就農（いずれも露地野菜）。その他には、特定農地貸付法により遊休農地を借受ける者、市民農園を利用する者、農業者のサポートを担う者となるなど、本市の遊休農地解消の一助となっている。
- 現在と過去の受講生が交流できる機会を創出し、コミュニティづくりを行った。

【誘致体制】

- 生駒市役所
就農希望者向けに農業全般に関する研修を実施。研修生への補助制度等の紹介等、就農後のサポート。
- J Aならけん、県北部農業振興事務所
技術、経営に関すること
- 農業委員会、なら担い手・農地サポートセンター
就農後の農地のあっせんに関すること

新規就農者や研修生の声

- いつかチャンスがあれば、また、畑作業を再開したいです。
- 将来的には自身の強みとなる野菜を定め、本業との兼業を目指します。
- OBや農家の方とつながりを持つ機会が多くあったことが収穫でした。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】生駒市農林課

TEL：0743-74-1111（代表）

E-mail：nourin@city.ikoma.lg.jp

HP：https://www.city.ikoma.lg.jp/category/30-4-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html